



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院

総務課

加藤 篤史（入社10年目）

赤十字との出会いはいつ、どこででしたか？

大学に来ていた献血バスで、献血に協力したことが始まりです。献血は針を指すときに少し痛いのですが、私の血液が病気の人に役に立つならと、その後も大学在学中に献血ルームによく献血に行きました。献血は今でも継続しており、令和4年2月に70回を超えました。

現在の仕事は？

病院宛てに届く調査やアンケートのとりまとめ、職員の派遣に伴う起案の作成、各種委員会の事務局に主に携わっています。調査やアンケートにおいて、総務課で把握していない項目もあることから、他課や診療科に協力を依頼することもあります。そのため、病院の様々な情報を知ることができ、また、多くの職員と関わることができ、やりがいを感じています。

1日の仕事の流れ（例）

8:45 2歳の娘を保育園に連れて行ってから、始業時間を30分遅らせて時差出勤

9:00 メールチェックとその日の予定を確認

9:30 起案文書の作成

11:30 病院宛てに届いた調査について、関係部署に回答依頼

12:00 職員食堂で昼食

12:45 引き続き業務

15:00 総務課職員で病院内の患者搬送のお手伝い

16:00 会議の準備

18:00 仕事に切りをつけて退社

19:00 帰宅 食事を取りつつ、2歳の娘と遊ぶ

仕事をするうえで、大切にしていることは？

総務課の仕事は多岐にわたるため、優先順位を明確にして、1つずつ着実に遂行するようにしています。また、常に改善できる場所を探しながら、少しでも効率化できるように努めています。

メッセージ

私は「人間を救うのは、人間だ」という日赤のスローガンに惹かれて採用募集に応募しました。実際に働いてみて、日赤にしかできないことを職員一丸となって一生懸命行っているのを目の当たりにし、就職して良かったと思います。人間を救いたい人は、ぜひ応募してみてください。一緒に働くことができるのを楽しみにしています。

